

# 平成 29 年度 箕輪町住民満足度調査

## I 調査の設計

### ◆ 調査の目的

町民の町での生活に対する満足度や、箕輪町第 5 次振興計画に基づき実施している取組みに対する評価や意見を把握することを目的とする。

### ◆ 調査の設計

- ▽調査対象 箕輪町内在住の 20 歳以上の町民 1,000 人
- ▽抽出方法 平成 29 年 12 月 1 日現在の住民基本台帳のうち、対象となる町民から人口構成比率を加味して無作為抽出
- ▽調査方法 郵送（一部ネット回答）
- ▽調査期間 平成 29 年 12 月 22 日～平成 30 年 1 月 12 日

### ◆ 回収結果

- ▽有効回答数 590 人（発送数に対して 59.0%）
  - 男性 269 人（有効回答の 45.6%）
  - 女性 321 人（同 54.4%）
- ▽回収内訳
 

郵送	510 人（86.4%）
インターネット	80 人（13.6%）

調査委託 一般社団法人長野県世論調査協会

<注>報告書のパーセント数字は小数点第 2 位を四捨五入。合計が 100 にならない場合がある。

※調査結果の抜粋

生活の満足度

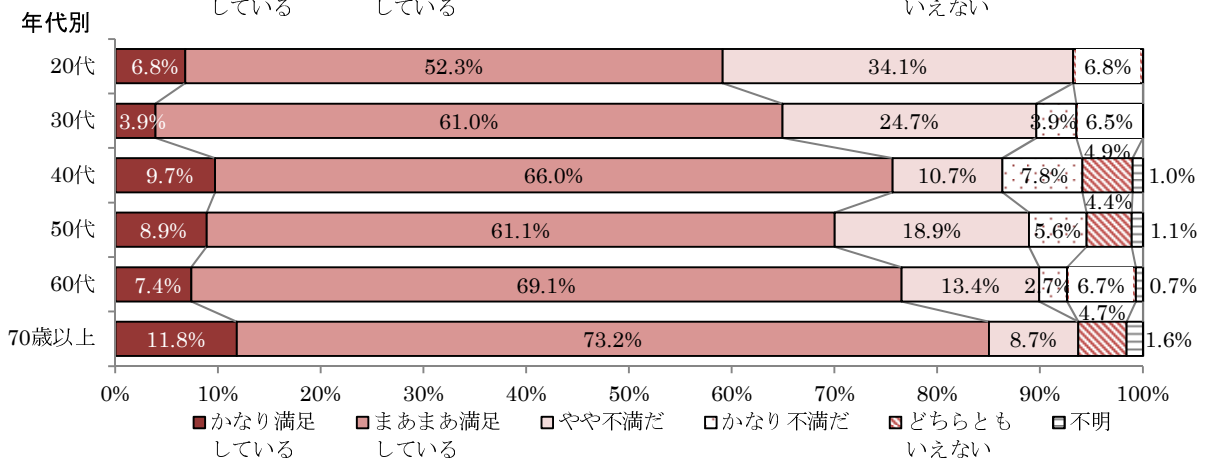
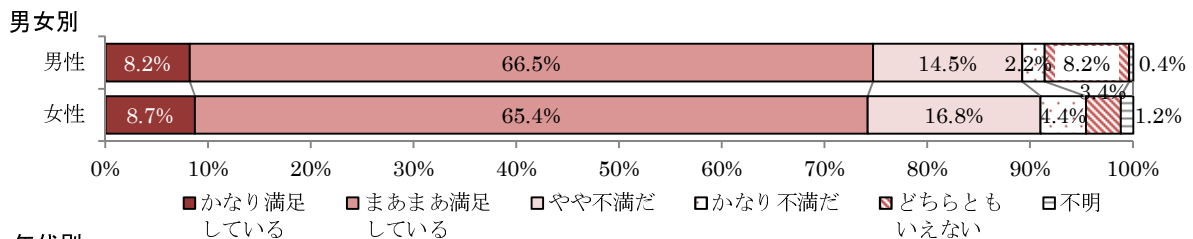
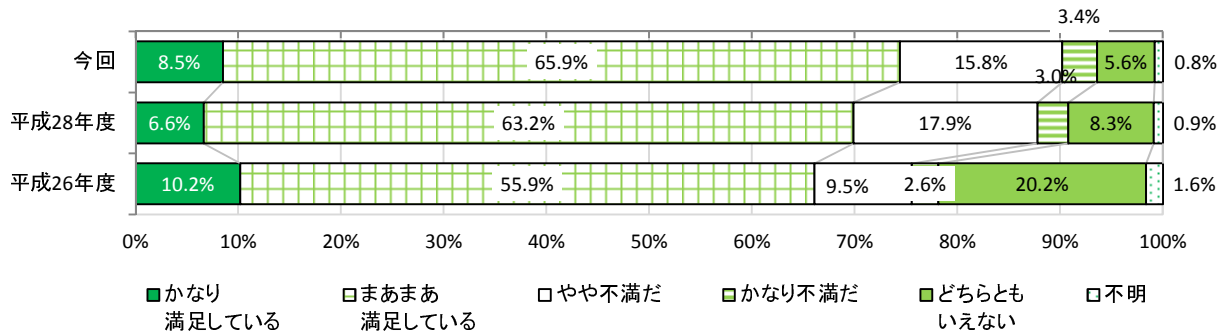
「満足している」4.6ポイント増の74.4%

問2 あなたは、箕輪町での生活に満足していますか

「かなり満足している」が8.5%、「まあまあ満足している」が65.9%で合わせて74.4%が箕輪町での生活に満足していると回答した。前回調査（平成28年度）から「満足している」の全体で4.6ポイント増加し、前々回調査（平成26年度）に引き続き増加している。

男女別では、「満足している」の全体にほとんど差はないものの、「不満だ」全体では、女性の方が4.5ポイント高い。

年代別では、年代が上がるほど「満足している」の全体が高くなり、「不満だ」の全体が低くなる傾向にある。また、団塊ジュニア世代である40代は、他の年代と比較して「満足している」の全体が高く、「不満だ」の全体が低い。



## 満足の理由

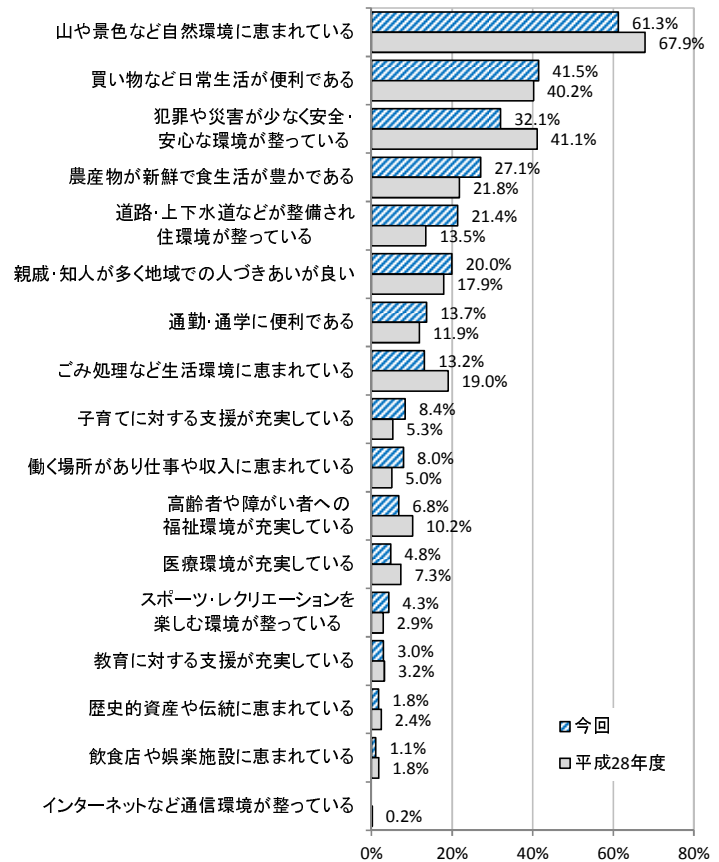
## 「自然環境に恵まれている」6割

問3 (問2で①または②とお答えの方に) 主な理由は何ですか。次の中から3つ以内に絞ってお答えください

問2で「かなり満足している」「まあまあ満足している」と回答した439人に、理由を3つ以内の複数回答で挙げてもらった。最も多かったのは「山や景色など自然環境に恵まれている」の61.3%で、2番目は「買い物など日常生活が便利である」の41.5%。以下「犯罪や災害が少なく安全・安心な環境が整っている」(32.1%)、「農産物が新鮮で食生活が豊かである」(27.1%)、「道路・上下水道などが整備され住環境が整っている」(21.4%)と続く。

前回調査と比べて上位項目の順位に大きな変動は見られない。

年代別では60代で「山や景色など自然環境に恵まれている」が75.4%、20代で「買い物など日常生活が便利である」が53.8%と高め。



### ◆年代別「満足の理由」上位3位

順位	20代	30代	40代
1位	買い物など日常生活が便利	山や景色など自然環境に恵まれている	山や景色など自然環境に恵まれている
2位	山や景色など自然環境に恵まれている	買い物など日常生活が便利	買い物など日常生活が便利
3位	親戚・知人が多く、地域での人づきあいが良い	犯罪や災害が少なく、安全・安心な環境がある	子育てに対する支援が充実している

順位	50代	60代	70歳以上
1位	山や景色など自然環境に恵まれている	山や景色など自然環境に恵まれている	山や景色など自然環境に恵まれている
2位	買い物など日常生活が便利	買い物など日常生活が便利	犯罪や災害が少なく、安全・安心な環境がある
3位	犯罪や災害が少なく、安全・安心な環境がある	犯罪や災害が少なく、安全・安心な環境がある	道路・上下水道が整備され生活環境が整っている

## 不満の理由

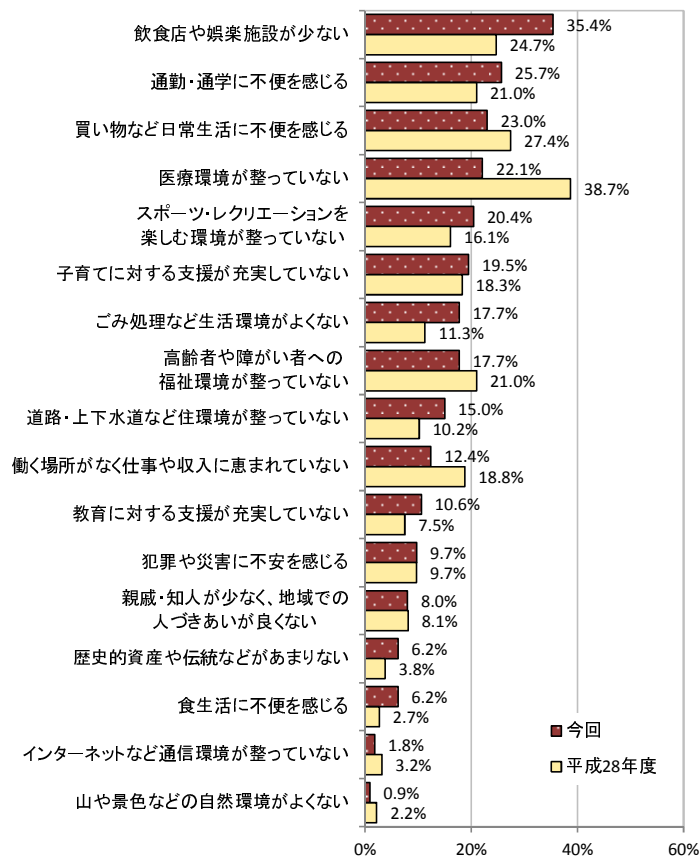
## 「飲食店や娯楽施設が少ない」35.4%

問4 (問2で③または④とお答えの方に) 主な理由は何ですか。次の中から3つ以内に絞ってお答えください

問2で「かなり不満だ」「やや不満だ」と回答した113人に理由を聞いた(複数回答・3つ以内)。最多は「飲食店や娯楽施設が少ない」の35.4%で、「通勤・通学に不便を感じる」が25.7%、「買い物など日常生活に不便を感じる」が23.0%、「医療環境が整っていない」が22.1%で続く。

前回調査から「飲食店や娯楽施設が少ない」は10.7ポイント増加した。前回最も多かった「医療環境が整っていない」は16.6ポイント減少しているのが目立つ。

20代～30代の若年層で「飲食店や娯楽施設が少ない」が半数を超える。一方、60代～70歳以上では「福祉環境が整っていない」「買物等日常生活に不便」が上位を占める。



### ◆年代別「不満の理由」上位3位

順位	20代	30代	40代
1位	飲食店や娯楽施設が少ない	飲食店や娯楽施設が少ない	スポーツ・レクリエーションを楽しむ施設が整っていない
2位	子育てに対する支援が充実していない	通勤・通学に不便を感じる	飲食店や娯楽施設が少ない
3位	働く場所がなく仕事や収入に恵まれていない	子育てに対する支援が充実していない	通勤・通学に不便を感じる

順位	50代	60代	70歳以上
1位	医療環境が整っていない	高齢者や障がい者への福祉環境が整っていない	犯罪や災害に不安を感じる
2位	通勤・通学に不便を感じる	通勤・通学に不便を感じる	高齢者や障がい者への福祉環境が整っていない
3位	買物など日常生活に不便を感じる	買物など日常生活に不便を感じる	買物など日常生活に不便を感じる

# 平成29年度 箕輪町17歳町民意識・生活実態調査

## I 調査の設計

### ◆ 調査の目的

若年層の町の生活に対する満足度や、愛着、居住の希望について把握するとともに、施策の参考とするため、生活の実態について把握することを目的とする。

### ◆ 調査の設計

- ▽調査対象 箕輪町内在住の平成11年4月2日から平成12年4月1日の間に生まれた町民249人
- ▽抽出方法 平成29年12月1日現在の住民基本台帳から対象となる町民全員を抽出
- ▽調査方法 郵送（一部ネット回答）
- ▽調査期間 平成29年12月22日～平成30年1月12日

### ◆ 回収結果

- ▽有効回答数 109人（回収率43.8%）
  - 男性 44人（有効回答の40.4%）
  - 女性 65人（ ” 59.6%）
- ▽回収内訳 郵送 87人（79.8%）  
インターネット 22人（20.2%）
- 調査委託 一般社団法人長野県世論調査協会

<注>報告書のパーセント数字は小数点第2位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。  
対象者が少ない回答は参考値である

※調査結果の抜粋

箕輪町での暮らし

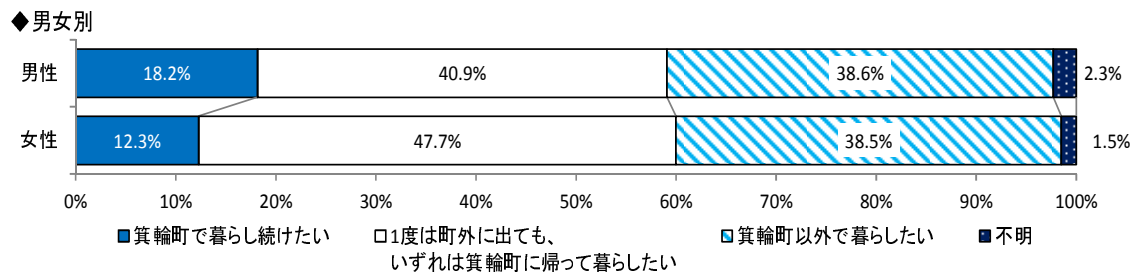
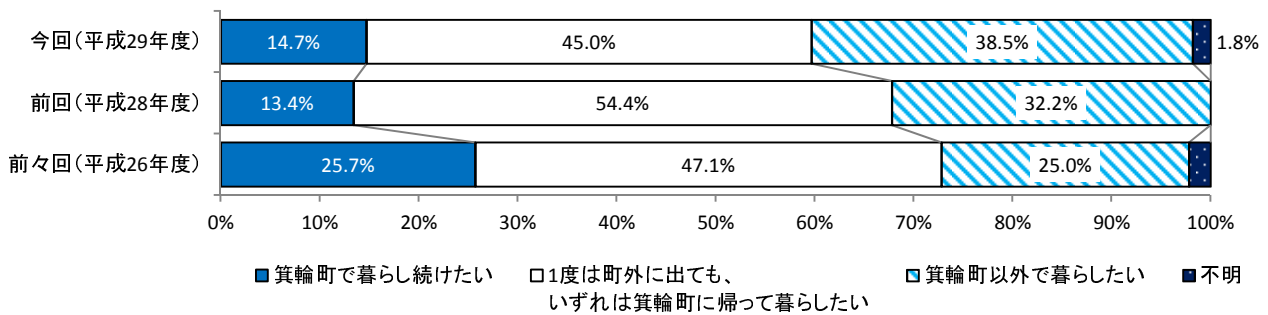
町で暮らし続けたい？

「1度出てもしいずれは帰りたい」45%

問5 あなたは、今後も箕輪町で暮らし続けたいですか。

「箕輪町で暮らし続けたい」が14.7%、「1度は町外に出ても、いずれは箕輪町に帰って暮らしたい」が45.0%で合わせて59.7%が箕輪町で住みたいと回答した。前回調査（平成28年度）と比べると、箕輪町で住みたい全体で約8ポイント低下し、「箕輪町外で暮らしたい」が6ポイント余増加している。

男女別に比較すると、男性より女性の方が「1度は町外—」が高いが、「箕輪町以外で暮らしたい」については男女の差はない。



## 町外で暮らしたい理由

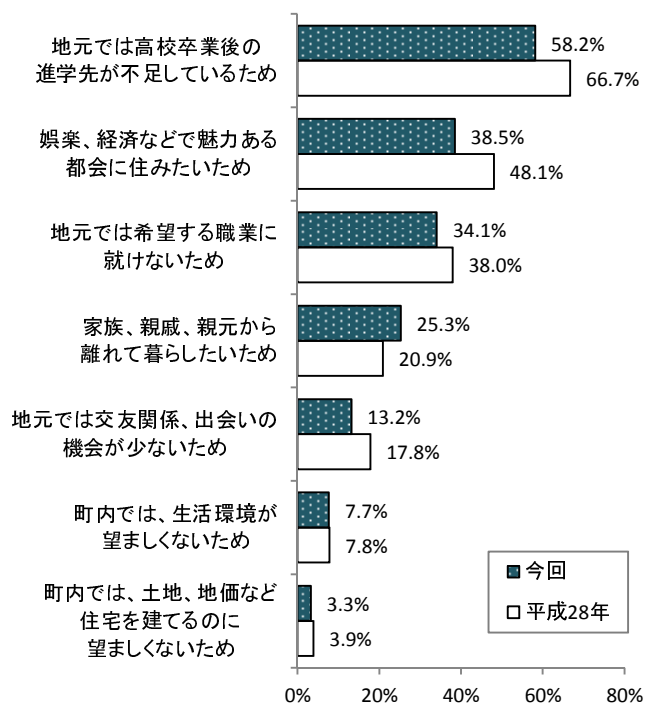
## 「高校卒業後の進学先が不足」58%

問6（問5で、②または③とお答えの方にお聞きします）

主な理由は何ですか。次の中から、3つ以内に絞ってお答えください。

「1度は町外に一」と「町外で暮らしたい」と答えた91人に聞いた理由は、「地元では高校卒業後の進学先が不足しているため」58.2%、「娯楽、経済などで魅力ある都会に住みたいため」38.5%、「地元では希望する職業に就けないため」34.1%の上位3項目は、前回調査（平成28年度）と共通となっている。

男女による大きな差異はなく、「高校卒業後の進学先不足」を1番目に挙げている。



### ◆男女別

